

会長 秋山 恭延

静岡県作業療法士会は、平成28年4月1日、当初の計画よりも1年早く公益社団法人としての新たなスタートを切ることができました。これもひとえに士会役員をはじめ会員の皆様の御協力があればこそであり、皆様には深く御礼申し上げます。公益社団法人を取得できたことで、職能団体としての信頼度がこれまでの一般社団法人よりも更に上がり、行政や他団体から様々な依頼や要望事項が増えてきました。また、同月に、静岡県理学療法士会および静岡県言語聴覚士会と共に静岡県リハビリテーション専門職団体協議会（以下、三団体協議会）が設立されました。これにより、自治体（県や市町）との連携がスムーズに行えるようになり、介護予防・日常生活支援事業をはじめ様々な事業への介入がしやすくなりました。さらに、熊本県の震災の後、三団体協議会とリハビリテーション医師の災害に関わる代表の方々と協議を重ね、静岡 JRAT（大規模災害リハビリテーション支援団体協議会）が設立されました。以上、平成28年度は、静岡県作業療法士会にとって、設立から35年での大きなターニングポイントの年になったと言えます。

以下、平成28年度の当士会活動について、4つの基本方針に基づき事業展開を行いましたのでご報告いたします。

1. 作業療法に関する学会・研修会の開催と、作業療法士の教育向上

会員が作業療法の知識・技術向上を目的に、学会・研修会を開催し、自己研鑽の機会を提供しました。

第29回静岡県作業療法学会は、山田英徳学会長の下、浜松市で開催されましたが、実行委員をはじめ多くの会員の協力で支えられ、学会が成功できたことに心から感謝を申し上げます。研修会・勉強会は、学術部および教育部主催で県内各地区において開催されました。また、三団体協議会主催で、介護予防・地域包括ケアシステム推進リーダー育成研修、訪問リハビリテーション研修会、災害リハビリテーション研修会が開催されました。

2. 作業療法の普及・啓発と広報に関する事業

この事業の目的は、作業療法士が「県民の健康に寄与できる専門職である」ことを啓発し、県下全域に作業療法を普及・展開することにあります。したがって公益性が高く県民の方々に関わる事業や広報活動が中心になります。平成28年度は、第12回公開講座の開催、ふれあい広場、高校生の施設見学、チャレンジ事業を行いました。また、県や市町の行政機関、関連団体からは、多くの委員や講師派遣の依頼を受けるようになりました。これらの依頼は、年々増加傾向にあり、依頼・要請のニーズに応じていくために、地域活動推進部では、各市町の担当窓口として代表者選出と地域ケア会議へ参加可能な会員リストを作成しました。さらに、県行政機関とは地域包括ケアシステム構築に向けたシステム作りを目的とした会議に出席し、総合事業への作業療法士の活用を促しました。

その他、日本作業療法士協会50周年記念事業として、作業療法かるた（OT生き活きかるた）を作成しました。作業療法かるたについては、今後OTの普及・啓発のため、県内各施設での活用を検討しています。

3. 会員の共益に関する事業

第29回静岡県作業療法学会において、子育て世代の会員支援企画、第5回静岡OTリーダー育成研修会を開催しました。当士会では、将来を見越し、会員の多くを占める子育て世代の支援と次の世代を担うリーダーの育成が、重要な課題と考えています。そのため、会員の共益に関する事業に工夫を凝らし、若い世代の会員から多くの「生の声」を聴ける機会を増やしていきたいと考えています。また、調査部では会員へのアンケート調査を実施し、アンケート結果より現状把握を行い、広報部と共に双方向の関係の継続に努めました。

4. 法人としての士会機能の充実を図る事業

昨年度、当初の計画よりも1年早く公益社団法人の認定を受けることが出来たのは、法人化対策委員の勝又理事、岩井事務局長、小林財務部担当理事の並々ならぬ努力の成果と認識しています。また、他の役員や各部局の委員の方々に対して、この紙面をお借りして感謝申し上げます。当士会は、一般社団法人から公益社団法人となったため、定款に基づく規約・細則の修正、会計システムや組織体系の見直しを行いました。特に、会計監査に対応するための会計システムの修正には、多くの時間と労力を費やしました。当士会が公益法人となった事で、今後、外部団体からの講師派遣や業務委託の依頼が予想されますが、公益法人にふさわしい団体として、更なる組織力の強化が今年度以降の課題と思われれます。

以上、平成28年度の主な活動報告であり、詳細については以下の各部報告をご参照下さい。

平成 28 年度 各部事業報告

【渉外部】

1. 日本作業療法士協会 47 都道府県委員会への出席
2. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会役員会への出席
3. 静岡県リハビリテーション懇話会・役員会への出席
4. 各種関連団体の学会・公開講座等への後援、記念式典への出席
5. 県内養成校の入学式、卒業式への出席
6. 静岡県や行政機関との会議・検討会への出席
7. 自治体事業等への委員派遣
 - ・静岡県健康福祉推進ネットワーク会議 委員
 - ・静岡県障害者自立支援協議会（精神障がい）地域移行支援部会 委員
 - ・静岡市健康福祉審議会 委員
 - ・静岡市精神保健福祉審議会 委員
 - ・静岡市あんしん住まい助成相談 委員
 - ・静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会 委員
 - ・静岡県障害者自立支援協議会（精神障がい）地域移行支援部会 委員
 - ・静岡市精神保健福祉審議会 委員
 - ・駿東地方地域リハビリテーション推進連絡協議会 委員
 - ・富士リハビリテーション専門学校作業療法学科教育課程編成委員会 委員
 - ・袋井市障害者計画推進協議会 委員
 - ・各市 障害者程度区分認定審査会 委員（静岡市，浜松市，沼津市，島田市，川根本町）
 - ・各市 介護保険認定審査会 委員
(静岡市，浜松市，伊東市，伊豆市，伊豆の国市，三島市，富士市)
8. 自治体，関連団体への講師派遣
 - ・静岡県介護支援専門員協会・介護支援専門員研修会 講師
 - ・静岡市教育委員会 民間教育力活用事業「スペシャリスト」講師
 - ・富士市保健部「介護予防・日常生活支援総合事業短期集中型訪問指導」講師
 - ・西部保健所高次脳機能障害ダイケア 講師
 - ・静岡県立掛川特別支援学校 校内研修会 講師
 - ・静岡県立袋井特別支援学校 校内研修会 講師
 - ・静岡県立清流館高校 福祉講演会 講師
 - ・特別支援学校訪問教育担当教員研修 講師
9. その他，渉外交流活動

【学術部】

1. 第1回学術部研修会

開催日：平成28年7月31日（日）

会場：JR静岡駅パルシェ

参加者：55名

内容：認知症の理解と地域支援

講師：小川 敬之 氏（九州保健福祉大学）

2. 第2回学術部研修会

開催日：平成28年10月30日（日）

会場：聖隷クリストファー大学

参加者：21名

内容：下部尿路障害（排尿障害）に対する評価法と下部尿路リハビリテーション
—OTの関わり方と他職種連携—

講師：今西 里佳 氏（新潟医療福祉大学）

3. 第3回学術部研修会

開催日：平成29年2月26日（日）

会場：富士リハビリテーション専門学校

参加者：34名

内容：福祉用具

講師：船谷 俊彰 氏（パナソニックエイジフリー）

4. 学術部会

開催日：平成29年2月26日（日）

会場：富士リハビリテーション専門学校

出席者：担当理事，部長，事務会計，各地区責任者，各地区部員，各SIG担当部員

内容：①研修会について ②学術部内委員会からの報告

③来年度の活動について（組織，活動方針について）

5. SIG

1) 静岡県精神科作業療法研究会

①第1回研修会

開催日：平成28年7月16日（土）

会場：三島市民文化会館

参加者：24名

内容：地域移行，地域定着支援

講師：澤野 文彦 氏（静岡県精神保健福祉士協会 会長）

②第2回研修会

開催日：平成28年10月22日（土）

会 場：溝口病院

参加者：38名

内 容：事例検討だヨ！全員集合

講 師：平口 麻里絵 氏（溝口病院 訪問看護ステーション スマイルリラ）

③第3回研修会

開催日：平成29年2月12日（日）

会 場：浜松市ザザシティ内ここ・い〜ら

参加者：31名

内 容：People（人）・Program（プログラム）・Assessment（評価）・Plan（計画）

－Sign：いろいろな角度から対象者を見てきた？－

講 師：朝倉 起己 氏（愛知県共和病院）

飯田 妙子 氏（メンタルクリニック ダダ）

2) 静岡小児リハビリテーション勉強会

①勉強会

開催日：平成28年6月19日（日）

会 場：静岡県立こども病院

参加者：30名

内 容：発達領域から難病まで活用できる IT 活用支援

ios（ipad）やWindowsPCなどのアクセシビリティ機能を中心に

講 師：森田 傑 氏（大阪発達障害総合療育センター）

②勉強会

開催日：平成28年7月2日（土）・3日（日）

会 場：長岡リハビリテーション病院

参加者：2日のみ4名，3日のみ7名，両日31名 計42名

内 容：ハンドリング

講 師：黒澤 淳二 氏（大阪発達総合療育センター）

③勉強会

開催日：平成28年7月24日（日）

会 場：グリーンヒルズ藤枝

参加者：31名

内 容：発達領域のMTDLP

講 師：中嶋 祥一 氏（聖稜リハビリテーション病院）

加藤 直樹 氏（静岡医療福祉センター）

3) OT しずおか高次脳機能障害勉強会

①第17回勉強会

開催日：平成28年7月17日（日）

会場：静岡労政会館

参加者：83名

内容：高次脳機能障害の臨床的な捉え方・考え方

講師：酒井浩氏（藍野大学）

②第18回勉強会

開催日：平成28年11月6日（日）

会場：静岡労政会館

内容：高次脳機能障害作業療法研究会に協力開催

第37回高次脳機能障害作業療法研究会2事例検討

6. 第29回静岡県作業療法学会

開催日：平成28年5月28日（土）・29日（日）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

学会長：山田英徳氏（常葉大学）

テーマ：「魂の輝き」－意味のある作業から意味のある人生へ－

参加者：821名（内 学生235名，一般50名）

1) 5月28日（土）

①公開講座：「あなたが生まれてきた意味－胎内記憶から考えること－」

講師：池川明氏（池川クリニック）

②シンポジウム：「子育てとOTのことを考える」

シンポジスト：兵永純一氏（常葉リハビリテーション病院）

山田京子氏（有限会社 ウエルライフ）

松野有里氏（十全記念病院）

③教育講演

講座1：「回復期リハビリテーション病棟での実践とマネジメント」

講師：澤田辰徳氏（イムス板橋リハビリテーション病院）

講座2：「包括的な社会統合を目指すいねいぶるの実践」

講師：宮崎宏興氏（NPO 法人いねいぶる）

④機器展示

2) 5月29日（日）

①学会長講演：「魂の輝き」－約30年を振り返って－

講師：山田英徳氏（常葉大学）

②教育講演

講座3：「作業療法の臨床実践に役立つ人間作業モデル」

講師：野藤弘幸氏（常葉大学）

講座4：「生活行為向上マネジメントの実践と最新の動向」

講師：谷川真澄氏（有限会社なるぎ）

③一般演題発表（口述発表・ポスター発表）

④公開講座：「苦しむ人々と向き合う—スピリチュアルペインとそのケア—」

講 師：山崎 章郎 氏(ケアタウン小平クリニック)

【教育部】

1. 現職者研修

1) 第1回現職者共通研修（新人オリエンテーション）

開催日：平成28年4月24日（日）

会 場：静岡県総合研修所 もくせい会館

参加者：132名

テーマ①：「作業療法生涯教育概論」

講 師：秋山 恭延 氏（JA 静岡厚生連遠州病院），田中 保之 氏（ラシュレ新清水）

テーマ②：「作業療法における協業・後輩育成」

講 師：渡邊 信介 氏（介護老人保健施設 鶴舞乃城）

テーマ③：「実践のための作業療法研究」

講 師：村岡 健史 氏（常葉大学）

2) 現職者選択研修（精神障害領域）

開催日：平成28年9月4日（日）

会 場：プラサ ヴェルデ

参加者：38名

テーマ①：「精神障害作業療法の基礎知識」

講 師：新宮 尚人 氏（聖隷クリストファー大学）

テーマ②：「精神障害作業療法の展開方法」

講 師：山本 晃弘 氏（溝口病院）

テーマ③：「精神障害作業療法の実践」

講 師：明石 幸子 氏（神経科浜松病院）

テーマ④：「精神障害作業療法関連のトピックス」

講 師：岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

3) 第2回現職者共通研修

開催日：平成29年1月29日（日）

会 場：浜松市地域情報センター

参加者：67名

テーマ①：「作業療法の可能性」

講 師：山田 京子 氏（有限会社 ウェルライフ）

テーマ②：「保健・医療・福祉と地域支援」

講 師：建木 良子 氏（NPO 法人 えんしゅう生活支援 net）

テーマ③：「日本と世界の作業療法の動向」

講 師：大庭 英章 氏（静岡医療科学専門大学校）

テーマ④：「職業倫理」

講 師：小坂 幸子 氏（JA 静岡厚生連遠州病院）

2. MTDLP 研修会

1) 基礎研修会

内 容：MTDLP 概論，演習，日本作業療法士協会事例報告登録システムへの申請方法などの学習

①開催日：平成 28 年 6 月 5 日（土）

会 場：静岡医療科学専門学校

参加者：85 名

講 師：小笠原 紀子 氏（静岡医療科学専門学校），尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

②開催日：平成 28 年 8 月 7 日（日）

会 場：藤枝市立総合病院

参加者：65 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科），高杉 雄太 氏（介護老人保健施設 菜の花の丘）
萩原 綾乃 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

③開催日：平成 28 年 10 月 2 日（日）

会 場：静岡県立静岡がんセンター

参加者：52 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

萩原 綾乃 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

④開催日：平成 29 年 2 月 19 日（日）

会 場：焼津市立総合病院

参加者：25 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科），高杉 雄太 氏（介護老人保健施設 菜の花の丘）
萩原 綾乃 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

2) 事例検討会

内容：事例報告を通して，日本作業療法士協会認定の MTDLP 熟練者/推進リーダーの取得をサポートする。

①開催日：平成 28 年 5 月 15 日（日）

会 場：伊豆韮山温泉病院

参加者：4 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科），高杉 雄太 氏（介護老人保健施設 菜の花の丘）
萩原 綾乃 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

②開催日：平成 28 年 7 月 3 日（日）

会 場：浜松市リハビリテーション病院

参加者：8 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

③開催日：平成 28 年 9 月 3 日（土）

会 場：静岡市立清水病院

参加者：2 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

④開催日：平成 28 年 11 月 12 日（土）

会 場：掛川東病院

参加者：3 名

講 師：小笠原 紀子 氏（静岡医療科学専門大学校）

尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

⑤開催日：平成 28 年 11 月 20 日（日）

会 場：JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院

参加者：3 名

講 師：尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

高杉 雄太 氏（介護老人保健施設 菜の花の丘）

萩原 綾乃 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

⑥開催日：平成 29 年 1 月 15 日（日）

会 場：菊川市立総合病院

参加者：3 名

講 師：小笠原 紀子 氏（静岡医療科学専門大学校）

尾崎 勝彦 氏（サカイ脳神経外科）

3. 事例報告会

1) 東部地区

①開催日：平成 28 年 6 月 26 日（日）

会 場：沼津市立図書館

参加者：63 名

【第 1 部】「事例報告と事例研究」

講 師：金子 智治 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

【第 2 部】「事例検討」「事例報告」

演題①：“綺麗でいたい”化粧動作が脳腫瘍患者を支えた一経験

勝又 加奈 氏（順天堂大学医学部附属静岡病院）

演題②：リハビリ拒否が見られた失語症患者に対し，心理状況に応じた介入から在宅復帰を果たした事例

長田 愛 氏（フジ虎ノ門整形外科病院）

演題③：退院前家屋訪問によって“真”のニーズが得られた事例

－在宅で本当にやりたいこと－

尾鷲 晋平 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

②開催日：平成 29 年 1 月 22 日（日）

会 場：沼津市立図書館

参加者：35 名

演題①：関節リウマチには欠かせない「ケア」が重要であると理解を深めた症例
－歩行訓練を通して－

渡邊 大和 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

- 演題②：拒否の軽減を図るために興味のある活動を導入したことで、訓練が落ち着いて行えるようになった事例
村野 友美 氏 (NTT 東日本伊豆病院)
- 演題③：発音困難なパーキンソン病患者とのコミュニケーションの取り方に着目した介入
－熟練作業士の5つの視点を用いて－
土屋 悠 氏 (長岡リハビリテーション病院)
- 演題④：片麻痺回復にこだわる事例と目標の共有をして、障害受容を目指した経過
日高 魁人 氏 (JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院)
- 演題⑤：早期退院しボランティアに復帰した一症例
－COPM と生活行為向上マネジメント使用して－
柏 大地 氏 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)
- 演題⑥：外泊を繰り返して在宅復帰をした、重度高次脳機能障害を呈した症例
岡田 圭介 氏 (NTT 東日本伊豆病院)
- 演題⑦：体操の指導という役割が退院後の新たな立場での参加に繋がった事例
鈴木 春瀬 氏 (NTT 東日本伊豆病院)
- 演題⑧：小脳出血を呈したが、家族内での役割を獲得できたことで活動・参加面への希望が持てるようになった症例
－希望する活動への介入が遅れてしまった症例を通して学んだこと－
上田 彩 氏 (NTT 東日本伊豆病院)

2) 中部地区

①開催日：平成 28 年 6 月 11 日 (土)

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

【第 1 部】「事例報告と事例研究」

参加者：17 名

講 師：田中 保之 氏 (ラッシュレ新清水)

【第 2 部】「事例検討」「事例報告」

参加者：27 名

- 演題①：立ち上がりから起居が改善した事例－動作の意欲に着目して－
青柳 翔太 氏 (静清リハビリテーション病院)
- 演題②：症例の性格・メンタルケアを考慮しつつ、自ら課題を自覚できるよう支援した症例
福田 桃子 氏 (聖稜リハビリテーション病院)
- 演題③：関節リウマチによる頸部術後患者に対する関わり
－自助具を使用した食事動作訓練を通じて着目して－
横山 友香子 氏 (藤枝市立総合病院)
- 演題④：pushing 症状を呈した重度片麻痺患者へのアプローチトイレ動作に着目して－
糟谷 あゆみ 氏 (静清リハビリテーション病院)
- 演題⑤：回復期におけるトイレ動作獲得に向けて OT アプローチ立位動作に着目して－
窪田 沙織 氏 (静清リハビリテーション病院)

②開催日：平成 29 年 2 月 18 日（土）

会 場：おとおみデイサービス

参加者：17 名

内 容：「事例検討」「事例報告」

演題①：「自由気まま」な生活に再び歩み始めたAさん—OSAを使用した全体像の把握と介入—
坂中 里歌 氏（聖稜リハビリテーション病院）

演題②：ADLの主観的満足度の評価からの作業療法アプローチ—COPMとSSADLを用いて—
山口 桃子 氏（聖稜リハビリテーション病院）

演題③：本人の主観を重要視したことで主体的な生活への第一歩を踏み出した事例
—「一緒に解決方法を考える」から始める作業療法アプローチを—
増田 裕果 氏（聖稜リハビリテーション病院）

演題④：陽性症状が活動面に影響していたが環境設定により事業所通所を始めた一症例
望月 彩加 氏（清水駿府病院）

演題⑤：前頭葉損傷により、重度の注意障害を呈した症例に対し、移乗動作を家族指導し、
成功した事例
外木 克樹 氏（静岡済生会総合病院）

演題⑥：脳腫瘍患者に対してなじみのある作業を選択したところ、注意機能、意欲の改善が
みられ母親としての役割の再獲得に至った一例
鈴木 綾華 氏（静岡済生会総合病院）

3) 西部地区

①開催日：平成 28 年 5 月 25 日（水）

会 場：静岡医療科学専門学校

参加者：42 名

内 容：「事例報告と事例研究」

講 師：村岡 健史 氏（常葉大学）

②開催日：平成 28 年 7 月 27 日（水）

会 場：浜松市リハビリテーション病院

参加者：42 名

内 容：「事例検討」「事例報告」

演題①：パーキンソン病特有の姿勢異常によりシーティングに難渋した一症例
原 圭佑 氏（北斗わかば病院）

演題②：急性期病院入院中に移乗動作の自立に至らなかった条例
—半側空間無視と Pusher 症候群への介入の経験—
大澤 明日美 氏（磐田市立総合病院）

演題③：大腿骨骨折術前の高齢者への作業の導入—精神機能低下予防に着目して—
岡田 佳緩 氏（磐田市立総合病院）

演題④：上肢の使用頻度が向上したことで、再び調理ができるようになった事例
—MALを使用した介入—
吉田 健人 氏（公立森町病院）

③開催日：平成 28 年 10 月 26 日（水）

会 場：静岡医療科学専門大学校

参加者：36 名

内 容：「事例検討」「事例報告」

演題①：家事動作再獲得を目指し、夫の協力で獲得できた事例

清水 真由美 氏（浜松南病院）

演題②：多彩な高次脳機能障害患者の行動範囲拡大—患者の性格に着目したアプローチを通して—

大西 華絵 氏（浜松市リハビリテーション病院）

演題③：嚥下手術患者に対して COPM を用いて目標の明確化を図った事例

—趣味活動の円滑な再開に向けて—

鈴木 美緒 氏（浜松市リハビリテーション病院）

演題④：復職と自動車運転再開に向けてアプローチを行った事例

山本 歩生佳 氏（JA 静岡厚生連遠州病院）

演題⑤：左橈尺骨遠位端骨折の術後、悸既往症の痛みに装具療法が訓練促進と ADL・IADL の

拡大につながった症例

祖慶 千春 氏（聖隷浜松病院）

④開催日：平成 29 年 2 月 22 日（水）

会 場：すずかけヘルスケアホスピタル

参加者：30 名

内 容：「事例検討」「事例報告」

演題①：長期経過したスワンネック変形に対し 8 の字 splint を作製した脳性麻痺例

中藪 真実子 氏（浜松市リハビリテーション病院）

演題②：カード使用によりトイレ動作自立となった症例

土井 美里 氏（中東遠総合医療センター）

演題③：家族指導後に自宅外出が可能となった脳梗塞後遺症例の治療経験

藤澤 祐里 氏（浜松市リハビリテーション病院）

演題④：退院先の情報不足により目標設定・介入に難渋した事例

佐藤 理菜 氏（中東遠総合医療センター）

4. 静岡リハビリテーション懇話会

1) 第 56 回

開催日：平成 28 年 9 月 17 日（土）

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

2) 第 57 回

開催日：平成 29 年 2 月 25 日（土）

会 場：順天堂大学 三島キャンパス

5. 認知症アップデート研修

開催日：平成 29 年 2 月 11 日（土）

会 場：静岡医療科学専門大学校

参加者：88 名

テーマ①：「世界および日本における認知症の課題」

講 師：山崎 大輔 氏（静岡医療科学専門大学校）

テーマ②：「認知症の障害の本質と認知障害原因疾患への理解」

講 師：小笠原 紀子 氏（静岡医療科学専門大学校）

テーマ③：「行動・心理症状の原因・背景および障害構造の理解」

講 師：小笠原 紀子 氏（静岡医療科学専門大学校）

テーマ④：「認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント GP 紹介（老健），
GP 記載について」

講 師：山崎 大輔 氏（静岡医療科学専門大学校）

6. 教育部会

開催日：平成 29 年 2 月 4 日（土）

会 場：事務局

出席者：14 名

内 容：生涯教育制度について，平成 28 年度事業実績まとめ及び平成 29 年度事業計画他

7. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進委員会

開催日：平成 28 年 10 月 15 日（土）・16 日（日）

会 場：東京文具共和会館

内 容：平成 28 年度生涯教育制度の現状と生涯教育委員会事業の進捗状況報告

生涯教育委員会各班活動報告

①基礎研修班 ②認定作業療法士制度班 ③専門作業療法士制度班

④生涯教育受講登録システム

8. 生涯教育手帳基礎研修ポイントの押印手続き及び会員からの問い合わせ等への対応

9. 日本作業療法士協会「生涯教育受講登録システム」の試験運用

【広報部】

1. 広報活動

1) 広報誌（OT しずおか）No. 121～No. 124 号の編集・発送

2) 一般向け広報誌の創刊

3) 日本作業療法士協会設立 50 周年記念事業 作業療法かるた（OT 生き活きかるた）の企画・作成

2. ホームページの管理・運営

3. 広報部会の開催（2 回）

4. 印刷費，郵送費，ホームページ関係費用の見直し

【財務部】

1. 会費・運営費の管理

各部の出納帳の確認と会計ソフト入力

2. 財務諸表作成

3. 会計担当者会議の開催

4. 会計規定の策定

【事業部】

1. 高校生施設見学（協力施設 39ヶ所）
開催日：平成 28 年 8 月 1 日（月）～ 8 月 6 日（土）
会場：東部 7ヶ所，中部 4ヶ所，西部 6ヶ所にて実施
参加者：一般 37 名
2. 一般市民作業療法見学
会場：NTT 東日本伊豆病院，富士整形外科病院，フジ虎ノ門整形外科病院，
聖稜リハビリテーション病院，市立御前崎総合病院
参加者：一般 8 名
3. 第 12 回公開講座
開催日：平成 28 年 10 月 30 日（日）
会場：静岡音楽館 A01
参加者：92 名（内 一般 48 名）
テーマ：認知症と自動車運転
講師：松浦 広卓 氏（静岡県警察本部交通部）
仁科 正彦 氏（静岡県警察本部交通部）
4. スポーツ振興事業
内容：精神障がい者フットサル事業に対するの支援
5. チャレンジ事業
内容：作業療法の啓発・作業療法普及・作業療法を通じて市民支援を目的とした活動に対して援する。
 - ①事業名：ケアルズ カフェ（5 回開催）
会場：沼津市
内容：一般市民（介護を行う家族等）に対して講座及びカフェを開催
地域型認知症予防プログラムの実施
参加者：一般 93 名
 - ②事業名：高次脳機能障害ピアサポート事業（13 回開催）
会場：静岡市，浜松市
内容：働いている高次脳機能障害のピアサポートの場を設け，就労継続支援を実施
参加者：静岡市一般 34 名，浜松市一般 53 名
6. 作業療法士出前授業
開催日：平成 28 年 2 月 17 日（金）
会場：清流館高校
参加者：一般 40 名
内容：作業療法士の紹介

7. 作業療法啓発事業

浜名湖花フェスタ 2016

開催日：平成 28 年 4 月 23 日（土）

会 場：浜名湖ガーデンパーク

参加者：一般 85 名

内 容：押し花作り，作業療法士の紹介

8. 作業療法体験

開催日：平成 28 年 11 月 26 日（土）

会 場：イオンタウン富士南

参加者：一般 309 名

内 容：松ぼっくりツリー作り，自助具展示，グリップ箸作り，作業療法士の紹介

9. 当事者・家族会支援事業

開催日：平成 28 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）

派遣者：3 名

内 容：在宅重度心身障害児（者）暦の会「しぞーかキャンプ」の支援（島田市）

10. 事業部会

開催日：平成 28 年 5 月 28 日（土）

会 場：アクトシティ浜松 コングレスセンター

【福利部】

1. 第 5 回静岡 OT リーダー育成研修会

開催日：平成 28 年 11 月 12 日（土）・13 日（日）

会 場：浜名湖弁天島ファミリーホテル 開春楼

参加者：28 名

内 容：①講義「東海北陸リーダー研修会伝達講習」

秋山 尚也 氏（浜松市リハビリテーション病院）

②グループディスカッション

③ナイトセミナー

④グループ発表

⑤講義「リーダーへの道！」

林 正春 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

2. 第 29 回静岡県作業療法学会懇親会・各地区新人歓迎会の支援

3. 子育て世代への支援内容の検討・企画

4. 部員体制の強化，部会の開催

【制度対策部】

1. 日本作業療法士協会制度対策部との連携（情報収集，問い合わせへの対応）

2. 医療保険・介護保険・障害福祉関連情報発信（ホームページ）

3. 診療報酬・介護報酬・障害福祉改定関連情報発信（連絡網，ホームページ）

4. 会員からの問い合わせ（保険請求，施設基準等）への対応

5. 地域包括ケアシステム構築に向けた各検討への対応

- 1) 調査部と連携し、会員の地域活動等実態把握
- 2) 地域活動推進部と連携し、各市町村別地域活動等推薦者の把握
- 3) 上記資料を基に三士会連携による行政との情報交換等

6. 研修会の開催

開催日：平成 29 年 3 月 5 日（日）

会 場：JR 静岡駅パルシェ

参加者：19 名

テーマ：平成 30 年度同時改定に向けた制度対策研修会

講 師：梶原 幸信 氏（伊東市民病院）

生田 純一 氏（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター）

大川 和則 氏（はあとふる内科・泌尿器科）

内 容：①近年の診療報酬・介護報酬改定の概要

②障害者福祉制度の概要

③日本作業療法士協会制度関連調査結果報告

④今後の制度改定の方向性と課題

⑤グループディスカッション

【調査部】

1. 第 29 回静岡県作業療法学会 参加者アンケートの実施
2. 特別支援教育に関するアンケート調査の実施
3. 地域ケア会議に関するアンケート調査の実施

【都道府県作業療法士会連絡協議会】

1. 平成 28 年度総会への出席

開催日：平成 28 年 5 月 29 日（土）

会 場：TKP 田町カンファレンスセンター

※都道府県連絡協議会は発展的解散が承認.

東海北陸支部の活動については解散後も連携体制を維持することで合意.

2. 東海北陸リーダー養成研修会参加者の推薦

開催日：平成 28 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）

会 場：富山県総合福祉会館 サンシップとやま

参加者：加納 彰 氏（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター）

佐藤 祐輔 氏（静岡リハビリテーション病院）

西川 達也 氏（介護老人保健施設 安寧の郷）

松尾 祐介 氏（富士リハビリテーション専門学校）

山崎 大輔 氏（静岡医療科学専門大学校）

【地域活動推進部】

1. 三役会議（4回開催）
2. 地区勉強会・タウンミーティング・懇親会の開催
3. 地区連絡網の管理
4. 3団体協議会地域包括ケアシステム推進リーダー導入研修及びフォローアップ研修運営協力
5. 人材育成事業

「地域ケア会議に資する人材育成研修会」伝達講習会

開催日：平成28年9月18日（日）

会 場：レイアップ御幸町

参加者：30名

講 師：林 正春 氏（JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院）

加納 彰 氏（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター）

6. 地域参画事業

伊豆市・伊豆の国市グループ活動

- 1) 開催日：平成28年8月21日（日）

会 場：伊豆医療福祉センター

対 象：伊豆地区の地域住民及び各患者会

内 容：啓蒙活動と交流 かげ絵遊び開催

参加者：19名（内 保護者9名）

- 2) 開催日：平成28年10月21日（日）

会 場：伊豆の国市青少年活動センター

対 象：伊豆地区の地域住民及び各患者会

内 容：ダンボール de 遊ぼう

参加者：19名（内 保護者9名）

7. ワーキンググループ

- 1) 精神障害ワーキンググループ

① 県自立支援協議会 地域移行部会 研修会ワーキングへの出席（7回）

② 県自立支援協議会 地域移行部会 研修会の運営

③ 県自立支援協議会 地域移行部会 研修会資料用 DVD の作成

【法人化推進委員会】

1. 変更届出の書類作成及び提出
2. 公益社団法人格取得後の体制作り
3. 他団体との法人管理に関する情報交換及び情報提供
4. 公益法人実務担当者説明会への出席

【災害対策委員会】

1. 第5回静岡災害リハビリテーション研修会
開催日：平成28年12月11日（日）

会 場：静岡県地震防災センター ないふるホール

参加者：30名(内 PT：10名，ST：4名，一般：3名)

テーマ：「災害時のよりよい連携を目指して」

特別講演①：「静岡県の地震対策－正しく知って，正しく恐れる－」

講 師：小林 佐登志 氏（静岡県地震防災センター 所長）

特別講演②：「南海トラフ地震での災害医療」

講 師：安田 清 氏（掛川東病院 医師）

2. 災害リハ実務者研修会（旧 災害リハミーティング）

開催日：平成 28 年 10 月 2 日（日）

会 場：レイアップ御幸町

参加者：28 名（内 PT：15 名，ST：3 名）

講義①：「リハ関連職の災害支援 大規模災害時において私たちができること
－平成 28 年熊本地震災害リハビリテーション支援活動報告－」

講 師：下田 栄次 氏（神奈川県作業療法士会 災害対策委員会）

講義②：災害時のリハトリアージ

講 師：町田 和 氏（国際医療福祉大学小田原保健医療学部 理学療法士）

3. 静岡 JART 設立，会議開催

4. 三団体協議会災害対策委員会への出席（2 回開催）

5. 災害時緊急連絡システムの管理：登録者数 383 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

【訪問リハビリテーション連絡委員会】

三団体協議会への参画

1. 第 7 回訪問リハビリテーション地域リーダー会議への出席

2. 静岡県訪問リハビリテーション連絡会会議への出席（5 回開催）

3. 静岡県訪問リハビリテーション実務者研修会

1) 開催日：平成 28 年 11 月 27 日（日）

会 場：静岡県教育会館 スンプラーザ

参加者：53 名（内 PT：37 名，ST：2 名）

内 容：①特別講座「訪問リハビリテーション生き残り大作戦」

講 師：露木 昭彰 氏（一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 研修班長）

②個人ワーク「事例振り返り」

③グループワーク「事例発表」

④講義「成功事例報告」

講 師：菅沼 映里 氏（びあくクリニック）

不破本 純子 氏（ケアル訪問看護リハビリステーション 言語聴覚士）

九藤 博弥 氏（インフィック株式会社 理学療法士）

2) 開催日：平成 29 年 2 月 5 日（日）

会 場：富士宮駅前交流センターきらら

参加者：68 名（内 PT：33 名，ST：4 名，その他職種：16 名）

内 容：①特別講演「地域包括ケアシステムの中での薬剤師の役割」

講 師：池田 靖啓 氏（静岡県薬剤師会）

②基調講演「富士宮市における地域包括ケアと在宅リハビリテーション機能への期待」

講 師：新谷 久美子 氏（富士宮市地域包括支援センター長）

③パネルディスカッション「訪問リハビリテーションの役割と今後の課題」

淵本 晃司 氏（富士中央クリニック 医師）

新谷 久美子 氏（富士宮地域包括支援センター長）

深澤 久美子 氏（れんげサポート居宅介護支援事業所 ケアマネージャー）

伊野 由紀子 氏（訪問看護ステーション都富 看護師）

佐藤 瑞穂 氏（富士いきいき病院）

【表彰委員会】

1. 平成 28 年度県士会表彰の実施

平成 28 年 5 月 29 日（土）第 29 回静岡県作業療法学会懇親会にて対象者の表彰を実施

表彰者：岩井 幸治 氏（町なか作業療法室伊豆）

岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

勝又 和也 氏（静岡市立清水病院）

小林 晃子 氏（城西神経内科クリニック）

2. 日本作業療法士協会・各団体からの表彰対象者の選考及び推薦

3. 県士会表彰規定の変更

【事務局】

1. 総会の運営

1) 総会議案集の作成・発送

2) 第 29 回静岡県作業療法学会にて総会の開催

2. 会員管理業務

1) 会費請求・会員管理システム運営・会員証明シールの発行

2) 会費督促状の発送

3. 県士会窓口業務

1) 対外的な窓口・公文書への対応

2) 会員からの問い合わせ対応等

4. 事務局の維持管理

1) 事務所及び備品の管理運営

2) 県士会の維持管理

5. 理事会などの運営